

## 企業物価指数におけるヘドニック回帰式(再推計結果) — スマートフォン —

日本銀行調査統計局では、企業物価指数において、調査対象商品がスマートフォンである場合の品質調整に適用するヘドニック回帰式について、以下のとおり再推計を行いましたので、お知らせします（推計結果は図表を参照）。

### <推計の概要>

対象品目 適用範囲 <sup>1</sup>	・「携帯電話機」（国内企業物価指数、輸入物価指数）、「固定・移動通信装置」（輸出物価指数）のうち、調査対象商品がスマートフォンであるもの。
推計 データ <sup>2</sup>	出所 ・メーカーのウェブサイトなどに掲載されているスマートフォン各機種の新規契約での一括購入価格 <sup>3</sup> 、および株式会社BCN作成のデータベース「BCNランキング」に掲載された特性値を使用。同データベースに記載されていない特性値のうち重要であると考えられるものは、個別機種の仕様書などから取得。  サンプル数（発売時期） ・82（2016年第3四半期～2017年第2四半期）
関数形 <sup>4</sup>	・尤度比検定の結果に基づき、線形を選択。
適用時期 の目安	・2017年9月以降
推計頻度	・年2回（3・9月）

<照会先> 調査統計局 物価統計課（TEL：03-3279-1111 内線4086）

以 上

<sup>1</sup> 国内品、輸出品、輸入品に対し、同一の推計式を適用。

<sup>2</sup> 国内品と輸入品が混在しているが、推計では両者を特に区別していない。

<sup>3</sup> 但し、SIMフリー端末の場合は、携帯通話プランなしの端末買切り価格を使用。

<sup>4</sup> ヘドニック回帰式の関数形は、Box-Cox変換項を含んだ一般的な関数形を想定（下式）。

$$\frac{y^{\lambda_0} - 1}{\lambda_0} = \beta_0 + \sum_{i=1}^n \beta_i \frac{x_i^{\lambda_i} - 1}{\lambda_i} + u$$

ここで $\lambda$ はBox-Coxパラメータ。 $\lambda=0$ のときは対数、 $\lambda=1$ のときは線形。関数は、上式の①両側Box-Cox形、②片側Box-Cox形（ $\lambda_i=1$ ）、③両側対数形（ $\lambda_0=\lambda_i=0$ ）、④片側対数形（ $\lambda_0=0$ 、 $\lambda_i=1$ ）、⑤線形（ $\lambda_0=\lambda_i=1$ ）、についてBox-Cox検定を行い、関数形を選択。

## 推計結果:スマートフォン

推計結果の適用時期の目安	今回 (2017年9月～)	前回 (2017年3月～2017年8月)
関数形	線形	両側Box-Cox
被説明変数のBox-Coxパラメータ		0.683
定数項	-28,753.382 ***	136.276
記憶容量 (GB)	119.054 ***	362.389 ***
Box-Coxパラメータ		-0.092
CPUのクロック周波数 (GHz)	34,179.096 ***	194.108 ***
Box-Coxパラメータ		3.225
ディスプレイの総画素数 (ピクセル)	2.682E-03 *	0.427 **
Box-Coxパラメータ		0.442
OSの種類ダミー		
Windows 10 Mobile	--	571.850 ***
カメラ性能ダミー		
1300万画素以上	9,160.860 **	--
1600万画素以上	--	218.447 ***
その他の機能ダミー		
顔認証機能	6,339.825 *	--
テレビ放送視聴機能	7,247.971 **	--
防水機能	11,997.303 ***	246.490 **
SIMカード付きダミー	--	588.505 ***
メーカーダミー		
A社	20,611.877 ***	343.737 **
B社	--	168.060 *
C社	--	272.123 *
D社	--	346.217 *
E社	--	496.530 **
発売時期ダミー		
2016/2Q	--	-94.242
2016/3Q	--	-92.374
2016/4Q	-2,913.616	-317.146 ***
2017/1Q	-6,503.621 *	--
2017/2Q	-182.372	--
決定係数	0.855	0.907
自由度修正済み決定係数	0.832	0.889
回帰の標準誤差	10,482.299	271.185
被説明変数の平均値	62,904.749	2,557.272
サンプル数	82	92
(発売時期)	(2016/3Q-2017/2Q)	(2016/1Q-2016/4Q)
両側Box-Coxに対する検定 ( $H_1$ : 両側Box-Cox)		
$H_0$ : 片側Box-Cox ( $\lambda_i=1$ )	5.402	7.289 *
$H_0$ : 両側対数 ( $\lambda_0=\lambda_i=0$ )	19.791 ***	37.650 ***
$H_0$ : 片側対数 ( $\lambda_0=0, \lambda_i=1$ )	32.832 ***	46.549 ***
$H_0$ : 線形 ( $\lambda_0=\lambda_i=1$ )	6.471	12.315 **

(注) 1. \*\*\*は1%、\*\*は5%、\*は10%水準で有意であることを示す。

2. 両側Box-Coxに対する検定は、尤度比検定により行っている。尤度比検定の統計量は、制約の数を自由度とする $\chi^2$ 分布に従う。
3. 防水機能は、IPX7またはIPX8の規格試験に合格した機種にダミーを設定している。